

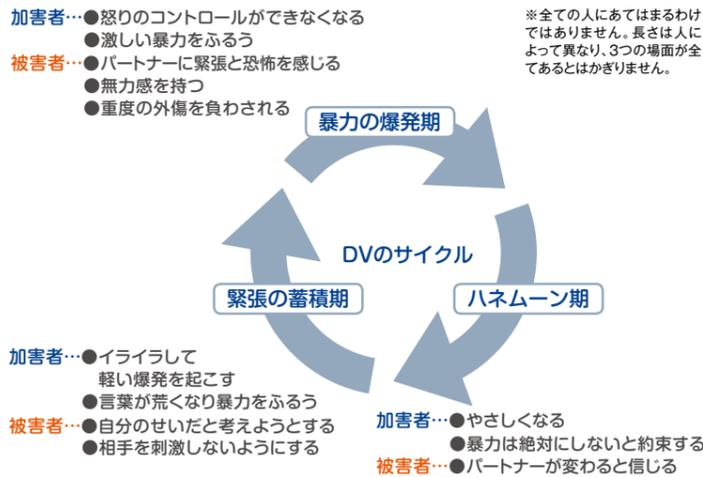
DV被害は繰り返される! — 悩まずに相談してください

ドメスティック・バイオレンス(DV)とは、配偶者や交際相手など親密な関係にある(あった)人からふるわれる暴力のことで、犯罪ともなる行為をも含む重大な人権侵害です。被害者の多くは女性であり、女性の5人に1人が何らかの身体的な暴力の被害を受けた経験がある*と答えています。

*さいたま市男女共同参画に関する市民意識調査(平成19年1月)

DVにはサイクルがあります。

DVには一定のサイクルがあり、暴力とやさしさが繰り返し現れるといわれています。しかし、暴力がなくなることはめざらしく、次第にエスカレートしていきます。DVをひとりで解決することは非常に困難です。ひとりで悩まず、まずは専門機関に相談してください。専門の相談員が応じます。氏名などはお聞きしません。相談は無料です。秘密は固く守りますので、気軽にお電話ください。



暴力を受けているあなたが悪いではありません!

(相談先)
パートナーシップさいたま【女性の悩み電話相談】
048-643-5813
 月~金曜日:午前10時~午後8時
 土・日・祝日:午前10時~午後4時(毎月第4日曜日・年末年始を除く)

Information

男女共同参画社会情報誌「You&Me~夢~」通信員を募集



情報誌の誌面づくりにご協力いただける方を募集します!

- 応募資格** 市内在住、在勤、在学の方
(ただし、年2回程度平日の昼間に開催する会議に出席できる方)
※会議開催時は託児あり(対象1歳以上の未就学児)
- 募集人数** 8名以内
- 任期** 平成24年4月1日~平成26年3月31日(2年間)
- 応募方法** 任意の用紙(A4縦長・横書き)に住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業(または所属団体)、電話番号、作文「①男女共同参画社会情報誌に関する感想、②男女共同参画についての意見(①と②で800字以内)」を記入し、直接、郵送、FAX、Eメールまたは市ホームページで男女共同参画課へ
- 応募締切** 平成24年3月13日(火)必着
- 結果通知** 3月末までに応募者全員に通知します
- 問合せ・提出先** 男女共同参画課
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4
TEL. 048-829-1231
FAX. 048-829-1969
Eメール:
 danjo-kyodo-sankakuka@city.saitama.lg.jp

Guest Message



浦和レッズレディース
 やまごう
山郷のぞみさん
 プロフィール
 1975年さいたま市(旧大宮市)生まれ。ゴールキーパー。高校卒業後、プリマハムFCくノ一(現・伊賀FCくノ一)に加入。1997年日本代表(現・なでしこジャパン)に選出される。2002年、さいたまレイナス(現・浦和レッズレディース)に移籍。2005年、米国のチームに移籍、同年9月に浦和レッズレディースに復帰し、プロ契約を結ぶ。アテネ五輪代表、FIFAワールドカップは4回代表(FIFA女子世界選手権を含む)となる。2010年のアジア競技大会で大活躍し、2011年の女子ワールドカップではチームのまとめ役として活躍した。

女子サッカー、男子サッカー、それぞれの良さがある その質の違いを楽しんでほしい

女子サッカーの名ゴールキーパー さいたま市民栄誉賞を受賞

浦和レッズレディースに所属し、チームの守護神としてゴールから選手たちをリードするゴールキーパーの山郷のぞみさん。2011年、なでしこジャパンの一員としてFIFA女子ワールド

カップの優勝に貢献したことに、さいたま市民栄誉賞が贈られました。「さいたま市で生まれ育ち、さいたま市の女子サッカーチームに所属する者として、すごく嬉しい」と山郷さんは語ります。

実は、山郷さんがサッカーを始めたのは高校入学後のことです。「中学まではバレーボール部でしたからサッカーの知識はありません。友人に誘われて入部したら、ゴールキー

地道に粘り強く ゴールに向かう それが女子サッカーの魅力

「女子サッカーが注目を浴び観客が増えても、サッカーは男子のスポーツ、女子サッカーは……」という声を聞くことがあります」と問いかけると、「たしかに男子サッカーはダイナミックでスピーディです。女子サッカーはパスでつなぐことが多くパワーに欠けて見えませんが、地道に粘り強くゴールに向かう質の高い技術に女子サッカーの特徴があります。男子サッカーにも女子サッカーにもそれぞれの魅力があるので、その違いを楽しんでほしいですね。また、女子サッカーチームでは、身近な人が世界を目指しているということも特徴のひとつなんです」

浦和レッズレディースでも、プロ契約をしているのは山郷さんをはじめ3人

子どもたちにサッカーの楽しさを伝えたい

「夕方からの練習は厳しいことも多いけれど、優勝の瞬間の大きな喜びを味わいたくて、困難を乗り越えていくのです。2012年はロンドンオリンピック。そのときは必ずスタジアムに立つと信じて、技術の向上だけでなく、体力やメンタルの維持も心がけ、後悔のない準備をしています」と柔らかな山郷さんの表情がきりりと引き締まり、決意のほどがうかがえます。

多忙な山郷さんですが、週に1回、練習の合間に幼稚園児のコーチを引き受けています。

「子どもたちにはサッカーボールで楽しく遊んでほしいです。団体競技はチームワークが大切ですが、サッカーに親しむうちに自然と相手の立場を考え、思いやる心が身につきます。子どもたちの家族も一生懸命応援しています。親子ですとサッカーを好きでいてほしいですね」とサッカーの普及や育成へ熱をこめて語る山郷さんでした。